

2023年12月18日

阪急電鉄株式会社  
阪急阪神不動産株式会社

新産業創造・地域活力向上を目指す取組のひとつとして  
スタートアップとデジタルノマドワーカーに特化した会員制 coworking オフィス  
フューチャー・ワークス  
「FUTRWORKS」を2024年1月に新設します  
～大阪梅田エリアを国際交流拠点に～

阪急電鉄株式会社と阪急阪神不動産株式会社では、スタートアップとデジタルノマドワーカー<sup>\*1</sup>に特化した会員制 coworking オフィス「FUTRWORKS」を、2024年1月5日（金）に「阪急グランドビル」に新設することを決定しましたのでお知らせします。

両社は、大阪梅田エリアの競争力の強化と地域力の伸長を図る目的で、スタートアップを支援する会員制 coworking オフィス「GVH#5（ジー・ブイ・エイチ・ファイブ）」を、2014年から「阪急ファイブアネックスビル」で運営してきており、これまでに入居するスタートアップを大手企業が友好的にM&Aをするなど、大阪のスタートアップ支援の取組で一定の役割を果たしてまいりました。一方で、海外のスタートアップやスタートアップと親和性、関連性の高いデジタルノマドワーカーの日本進出が増加しつつある中、このような企業・人材を関西で受け入れる場所の必要性が高まってきております。

こうした潮流を踏まえて、今般新設する会員制 coworking オフィス「FUTRWORKS」は、これまでの「GVH#5」の機能を拡張・発展させて、よりグローバルなニーズに対応していくことを目指す施設です。「FUTRWORKS」では、グローバルなイノベーション人材やそのサポーターが、ここに一堂に会することで共創を促進させていき、この場所から社会課題を解決するスタートアップや人材が成長していくことを目指してまいります。

阪急阪神ホールディングスグループでは、大阪梅田エリアが、世界と関西をつなぐ「国際交流拠点」となることを目指した取組を推進していくため、「大阪梅田エリア」の価値向上に向けた構想「梅田ビジョン」<sup>\*2</sup>を2022年5月に策定しました。この「梅田ビジョン」のもと、国際交流・ビジネス拠点としての大阪梅田エリア・さらには関西全体のプレゼンス向上に努めてまいります。

フューチャー・ワークス  
会員制 coworking オフィス「FUTRWORKS」の詳細は次のとおりです。

※1 IT 技術を活用し、場所に縛られず遊牧民（ノマド）のように旅をしながら仕事をする人たちのこと。

※2 「梅田ビジョン」に関するサイトはこちら <https://umeda-vision.hhp.co.jp/>

フューチャー・ワークス  
会員制 coworking オフィス「FUTRWORKS」の詳細

- 施設名称 フューチャー・ワークス  
グローバル・イノベーション・ coworking オフィス「FUTRWORKS」  
「未来を創る仕事」「未来が機能する場」として瞬間的に場のポジティブなイメージが掴みやすいようにするとともに、FUTURE の文字を FUTR に短縮することで、名称としての固有性を持たせています。
- 開設日 2024年1月5日（金）（予定）

「FUTRWORKS」の開設に伴い「GVH#5」は、2023年12月末で終了します。

■場 所 阪急グランドビル 26階 (所在地：大阪市北区角田町8-47)

■開設目的 「GVH#5」では、これまでコワーキングスペースやレンタルオフィスの提供をはじめ、ここを拠点とした新たなビジネスパートナーとの出会いの創出などといったスタートアップ支援を行ってまいりました。一方、今般、新設する「FUTRWORKS」では、これまでの「GVH#5」の取組に加え、日本のスタートアップの海外展開支援と海外のスタートアップやデジタルノマドワーカーなどの人材の誘致に注力する施設として運営し、外国人デジタルノマドワーカーが気軽に訪れることができる場所になるよう、海外との連携を促進させながら、多彩なイベントの開催なども検討してまいります。

この取組の一環として、阪急阪神不動産と関西経済連合会、JR東日本東南アジア事業開発の3社は、「シンガポールと関西双方のイノベーション創出に資する連携協力に関する協定」を締結<sup>※3</sup>しており、この「FUTRWORKS」はシンガポールのスタートアップの受け皿となります。

※3 2023年12月12日付リリースをご参照ください。<https://www.hankyu-hanshin.co.jp/release/>

### ■基本ロゴデザイン

(ロゴパターンⅠ)



(ロゴパターンⅡ)



(ロゴデザインに込めた想い)

モチーフであるモザイク調のパーツは、人の価値観は、白・黒のようにハッキリしたものではなく、その間にある無数のグラデーションから成り立っているとの視点から、この場に関わる一人ひとりが多様な思考や価値観を持ち寄り、混ざり合いながら共創していく場である事を表現しています。また、モザイク模様には、共創の先に見える未来が全て見えるわけではないものの、未来の片鱗が確実に芽吹き始めている、現在進行形な姿を作り出すという意味も込めています。

### ■施設内装パース (いずれもイメージ)



施設の入口付近



コワーキングエリア (右手の奥は個室)

■FUTRWORKS web サイトアドレス <https://futrworks.com>

以上

■本取組みは、梅田ビジョンに掲げる基本方針①・②・③の街づくりを目指しています。

【梅田ビジョン6つの基本方針】

国際的な都市間競争を勝ち抜くための “独自価値”	基本方針 ① 共創により新しい価値が生まれる街づくり
	基本方針 ② 出会いと交流を促進する街づくり
	基本方針 ③ 多様な人々と企業が集う活力ある街づくり
ニューノーマル時代の都市として必要な “基本価値”	基本方針 ④ 最先端の技術等を活用して新たな価値を提案する街づくり
	基本方針 ⑤ 持続可能な街づくり
都市の魅力を世界に向けて発信	基本方針 ⑥ 世界に向けた戦略的な情報発信

以上